



Profile

## みらいファーム

代表 岩佐 武幸

15年前までサラリーマンだった岩佐さん。「定年後も長く仕事を続けたい」と農家に転身し、知人から譲り受けた資材でハウスを建て、独学でサンチュ作りから農業を始めた。その後、豊富な自然環境を存分に生かしたレタスづくりをスタート。



## 「みらい」へと続く農業 阿南の自然が育む、安心安全で美味しいレタス

阿南市で水耕栽培によるレタスを育てる「みらいファーム」。その名前には“未来に向けて農業を続けていきたい”という想いが込められており、ハウスでは「リーフ」「フリル」「フリル（赤）」「グリーン」といった4種類の『レタス』を栽培。これらの新鮮な『レタス』は、あいさい広場や関西圏のスーパーに出荷され、多くの消費者に親しまれている。

みらいファームの『レタス』の特徴は、年間を通じて収穫できること、そして減農薬の水耕栽培にある。春先に一度、殺菌剤を使用する以外は農薬を使わず、“洗わなくてもそのまま食べられる”安心安全な『レタス』を消費者へ届けている。さらに、地下水を利用することで【夏は涼しく、冬は暖かい】という理想的な環境をつくり出した。ハウス内の温度管理も、自然の恵みを活かした太陽光による温度管理を実現し、暖房機器を使わずとも、一年を通して安定した収穫を可能にしている。

こうして愛情たっぷりに育てられたレタスは、収穫から袋詰めまで、すべてを手作業で行う。お客様からは“新鮮でおいしい”と評判を呼び、阿南市内でも数少ないレタス農家として存在感を放っている。また、10月～5月には『ミツバ』の栽培にも取り組み、地域に多様な食材を届けている。さらに、阿南市社会福祉協議会と連携し、子どもの就労施設へ野菜を提供するなど、SDGsを意識した活動も進めており、今後も温暖化による栽培環境の変化に向き合いながら、未来へ続く持続可能な農業に挑み続ける。